

令和7年度みやぎの青少年意見募集事業 ～アンケート実施結果～

テーマ

「児童福祉（特に児童養護）に関する
若者の理解促進について」



○概要

【対象】 県内の中学1年生～29歳までの方

【募集期間】 令和7年7月15日～令和7年8月31日

【回答者】 79人

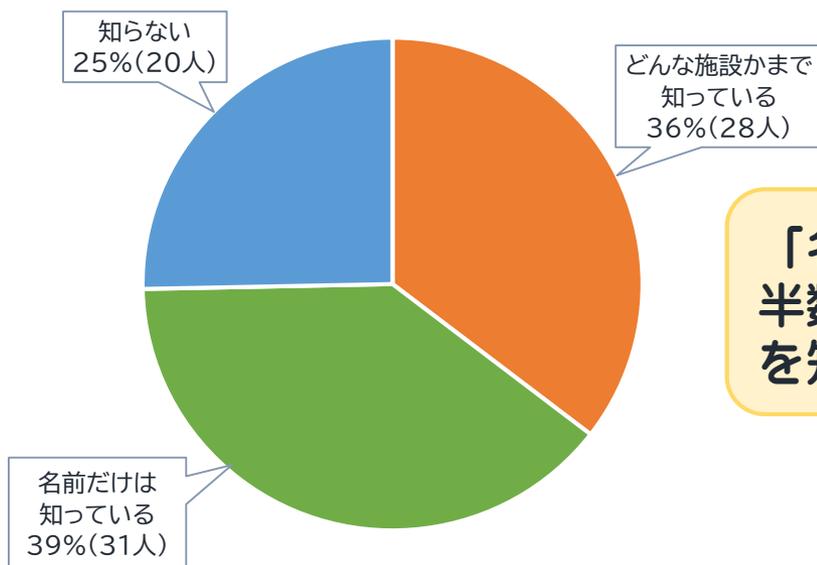
(内訳：中学生29人、高校生34人、大学生・専門学校生など15人、その他1人)

【回答方法】 WEBアンケート・紙のアンケート

○結果

設問 1

児童養護施設を知っていますか。（回答者：79人）



「名前だけ」という人も含めて半数以上の人々が、児童養護施設を知っていました！

○結果

設問2

(知っているとは回答した方) 何がきっかけで知ったのか教えてください。【自由記述】(回答者: 53人)

- ・ テレビ(ニュースやドラマ)で見たことがある。(30人)
- ・ 本(小説や漫画)で読んだことがある。(9人)
- ・ SNSで聞いたことがある。(5人)
- ・ 学校の授業で聞いたことがある。(4人)

○結果

設問3

児童養護施設と聞くと、どのようなイメージを持ちますか。

【自由記述】（回答者：71人）

- ・子どもたちがたくさんいる施設。（32人）
- ・様々な事情を抱えた子どもがいる施設。（25人）
- ・子どもの保護や生活支援を行う施設。（9人）

○結果

設問4

児童養護施設の職員は、どのような仕事をしていると思いますか。【自由記述】（回答者：72人）

- ・子どもたちの世話をする。（38人）
- ・子どもたちと遊ぶ。（18人）
- ・子どもたちの話を聴き、心のケアを行う。（15人）
- ・勉強を教えるなど、学校の先生のような仕事をする。（5人）

○結果

設問5

若い方に、児童養護施設やそこで働く職員について知ってもらうためには、こういった取組が効果的だと考えますか。

【自由記述】（回答者：68人）

- ・ SNSを活用して情報発信する。（26人）
- ・ 学校で紹介したり、職業体験の機会を設けたりする。（19人）
- ・ 広告を作成して、テレビなどで流す。（10人）
- ・ チラシやポスターを作成し、配布・掲示する。（6人）
- ・ メディアで取り上げる。（5人）